

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 美並 明伸さん（八幡平市）

取材担当 八幡平農業改良普及センター 藤田 智美

八幡平市で令和7年に新規就農した美並明伸さんを紹介します。

奈良県出身の美並さんは、短期集中型プログラミング学習イベント「スパルタキャンプ」への参加がきっかけで八幡平市を訪れました。ITでの起業を目指していましたが、八幡平市の自然や生活環境に触れることで、農業での起業を決意し、八幡平市に移住しました。

移住後は、市内の農業法人で1年間雇用就農したのち、「八幡平市新規就農者等支援事業」を活用して、師匠である市内のほうれんそう農家で2年間研修しました。研修2年目には、担い手育成特定資産事業「新規就農者等技術研修事業」を活用して岩手県立農業大学校が開催する「新規就農者研修（基礎コース）」も受講しました。

いざ新規参入してみると、「予期せぬハプニングがあった」、「当初立てていた計画よりも資金繰りが大変だった」とのことですが、「まずは農業を軌道に乗せたい」、「小さくコツコツと行って、大きな失敗をしないようにしたい」と、計画達成に向けて意欲的に取り組んでいます。

ほうれんそう産地の担い手として、師匠を始め、先輩農家から助言を受けながら経営をスタートさせた美並さんの、今後の活躍が期待されます。



ほうれんそう播種予定のハウスにて



昨年知り合いから購入した中古トラクタとともに